

教科名	美術	科目名	高校美術1	履修学年	高校	1 年 全 (選択) 組		
単位数	週当たり1時間	使用教科書 教材等	美術1 (光村出版株式会社)					
担当者	高原尚司/清水恵郁							
学習目標	美術の創造活動を通して美的体験を豊かにし、表現と鑑賞の能力を伸ばす。 観察や想像に基づいて主題を把握し、表現の方法を工夫して意図的、計画的に表現する態度を育てる。							
学習内容	ビジュアルデザインの学習を通してデザイン表現の多様性を理解する。 バルサ材による立体表現からイメージ構築が出来るような思考形態を学習する。 見ることの基本を具体的に表す鉛筆デッサンの学習。							
授業方法	各学期にメインテーマを設定し課題を提示、課題説明とその技法、歴史等の学習をもとに実制作に応用しながら作品制作を行う。							
評価方法	①関心・意欲態・態度…授業を聞く姿勢、提出物、忘れ物がないか、発言、作業進度 ②発想や構想の能力…発想の面白さ、アイデアスケッチ、下絵 他 ③創造的な技能…丁寧さ、美しさ、完成度、正しい用法 ④鑑賞の能力…定期考査、ワークシート そのほか美術室の物の扱い、課題の提出期限等							
授業計画								
学期	月	学習内容・単元等					区分1 評価	区分2 評価
1 学期	4 月	<p style="text-align: center;">「レタリング」</p> <p style="text-align: center;">「学校行事のためのポスター」 (デザイン、鑑賞)</p> <p>ヴィジュアルデザインの一媒体としてのポスターの特性を、他の媒体と比較しながら考え、同時にその社会的役割について広い見地で考えさせる。 伝えるべき内容を、簡潔に力強く、美しく表現できるようにする。 目的や条件に応じた制作方法の工夫。 色彩の効果と使用。</p>					レタリング 演習	ポスター 作品の 提出
	5 月							
	6 月							
	7 月							
	8 月							
2 学期	9 月	<p style="text-align: center;">「木彫によるグラバー魚譜の魚」 (彫塑、鑑賞)</p> <p>「グラバー魚譜」グラバーの息子、倉場富三郎の収集した日本近海の魚たちの絵200選の資料から形や色、質感などをとらえて木彫として立体的に表現する。一方向からの見方だけでなく三次元的な思考をイメージできるようにする。模様や色を自己解釈により独創的に着彩する。</p>					下書きの 提出	彫刻 作品の 提出
	10 月							
	11 月							
	12 月							
3 学期	1 月	<p style="text-align: center;">「写真模写」</p> <p>自分の好きなものや風景を写真に収め、鉛筆で模写する。 光や影の要素もとらえるようにハッチングや濃淡を工夫する。 自身の良いと思うものについてクラスメイトと共有する。</p>					デッサン の 提出	
	2 月							
	3 月							

教科名	美術	科目名	美術	履修学年	高校	2年全 (選択) 組		
単位数	週あたり1時間	使用教科書 教材等		美術1 (光村図書出版株式会社)				
担当者	大塩博美/清水恵郁							
学習目標	美術の創造活動を通して、美術についての理解を深め、美術を楽しめるような心情を育てる。 主体的に主題を把握し、意図に応じた表現ができる能力を育てる。							
学習内容	絵画表現、デザインの基礎、自己の探求を学習する。							
授業方法	実技形式による授業を中心とする。美術鑑賞は歴史を学び、表現様式についての理解を深め、表現能力を高める							
評価方法	①関心・意欲態・態度…授業を聞く姿勢、提出物、忘れ物がないか、発言、作業進度 ②発想や構想の能力…発想の面白さ、アイデアスケッチ、下絵 他 ③創造的な技能…丁寧さ、美しさ、完成度、正しい用法 ④鑑賞の能力…定期考査、ワークシート そのほか美術室の物の扱い、課題の提出期限等							
授業計画								
学期	月	学習内容・単元等					区分1 評価	区分2 評価
1 学期	4 月	「絵画の中の人物から見た絵画空間」 (絵画、鑑賞) 具象的絵画表現は対象とそれを見ている作者との関係からできている。そこには作者の表現様式が反映し、空間認識がその絵画の中の世界を創り出している。作者の認識の視点がどこにあるかがその世界を創り出す大きな要素となる。絵画を鑑賞することで、その世界を体現し、絵画の中からその世界を見ることで、作者の感動に近づき、形や色彩による空間認識能力を高める。(絵画の中の人物の視点でとらえた世界を自分のイメージで絵にする。)					透 視 図 プ リ ン ト	絵 画 作 品
	5 月							
	6 月							
	7 月							
	8 月							
2 学期	9 月	「商品宣伝のための表現」 デザインの実際を理解するために架空の商品をイメージし、その宣伝のための多様性のあるビジュアル的作品を考える。 個人単位のタイムスケジュールを組み立て作業の工程を自己管理し、広告の効果や表現の方法を具体的にプレゼンテーションする機会をつくり、その発表の主題とテーマをもとに完成度のある宣伝広告に仕上げる。					シ ュ ル レ ア リ ス ム の 技 法 研 究	商 品 宣 伝 の た め の 表 現
	10 月							
	11 月							
	12 月							
3 学期	1 月	「自画像」 これまで取り組んできた美術的な要素を再考し、自分なりのとらえ方で高校最後の美術作品として、自分を見つめ自分の素顔を表現する。実物よりも大きな自分の姿を四つ切画用紙に表現する。					水 彩 表 現	
	2 月							
	3 月							